



タイ NS-SUS がブリキめっきラインの能力拡張投資を決定

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）の連結子会社であるタイの冷延・溶融亜鉛めっき・ブリキ鋼板メーカー NS-Siam United Steel Co., Ltd.（以下、NS-SUS 社長：小川 英樹）は、製缶メーカーを中心としたお客様からの容器用ブリキ鋼板供給ニーズに対応すべく、Electric Plating Line (EPL) において約 20 億バーツ（約 89 億円）の能力拡張投資を決定しました。

タイは、日本製鉄が 1963 年から製品加工拠点を展開する等、海外事業戦略の中で最も重要な戦略市場の一つであり、日本製鉄グループとして、2022 年に買収した G/GJ Steel（累計投資額約 179 億バーツ（約 788 億円））も含め、現在、直接・間接合わせた 30 社の現地事業会社を運営、合計約 8,000 人を雇用し、タイにおける鉄鋼～最終需要家に至るサプライチェーン構築を通じタイ国内産業の発展に貢献しています。

タイは食缶の一大輸出拠点として産業が集積し、容器用ブリキ鋼板は引き続き堅調な成長と拡大が見込まれています。今回 NS-SUS は、タイ国内での更なる自国産化の推進、サプライチェーンの強化・発展に資すべく、容器用ブリキ鋼板の供給能力を増強する設備投資を決定しました。この結果、NS-SUS のブリキ鋼板製造能力は、現状の 28 万トﾝ/年から 35 万トﾝ/年へ拡大します。また本能力増強投資は 2027 年 3 月に完工する予定です。

【投資内容（合計約 20 億バーツ（約 89 億円））】

- ・ 1 号 EPL 並びに 2 号 EPL の既存設備改造

（参考）NS-SUS 社概要

(1) 社名	NS-Siam United Steel Co., Ltd.（略称 NS-SUS）
(2) 本社所在地	本社・工場：ラヨン県マプタプット 営業事務所：バンコク市バンナ
(3) 事業内容	冷延鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、ブリキ鋼板の製造、販売
(4) 資本金	130 億バーツ（約 560 億円）
(5) 株主構成	日本製鉄株式会社 94.9%、Thai Tinplate Mfg. Co. Ltd. 4.8% 日鉄物産株式会社 0.3%、
(6) 生産能力	冷延 120 万トﾝ/年、溶融亜鉛めっき 37 万トﾝ/年、ブリキ 28 万トﾝ/年
(7) 従業員数	約 1,500 名

日本製鉄グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動（「つくる責任 つかう責任」）を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

お問い合わせ : <https://www.nipponsteel.com/contact/>